

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月26日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【多核種除去設備処理水貯槽17の水位計の指示不良について】 多核種除去設備処理水貯槽17の水位計の指示不良を確認。 処理貯水槽の水位は別系統により確認可能のため問題なし。 水位計の点検を実施予定。	GⅢ	7月20日
2	【6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の北側水室ベント弁の漏えいについて】 6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の北側水室ベント弁から、滲み程度の漏えいを確認。 熱交換器の機能に影響はなし。 当該弁を交換予定。	GⅢ	7月23日
3	【6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の南側水室ベント弁の漏えいについて】 6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の南側水室ベント弁から、鉛筆の芯1本程度の漏えいを確認。 ベント弁に閉止栓を取付し漏えい停止。 当該弁を交換予定。	GⅢ	7月23日
4	【H6エリアタンク設置工事における熱傷(Ⅱ度)災害の発生について】 H6エリアタンク設置工事の溶接作業において、溶接完了後の接合部に右上肢を接触させ、余熱により熱傷(Ⅱ度)を負った。 対策検討中。	GⅢ	7月23日
5	【復水貯蔵タンクの窒素バブリング流量調整用ヘッダからの漏えいについて】 復水貯蔵タンクの窒素バブリング流量調整用ヘッダのフランジ部およびボルト部から、窒素の微少な漏えいを確認。 漏えいは微少でありバブリングに問題なし。 ボルトの交換およびフランジ部の手入れを実施予定。	GⅢ	7月22日
6	【海水放射線モニタ用空調機(1)の故障について】 海水放射線モニタ用空調機(1)から冷風が出ていなかったことから、現場の圧力計を確認したところ、指示値が0MPaであった。このことから冷媒のフロン全量漏えいによる故障と推定。 現在、当該モニタは異常なし。 修理を実施予定。	GⅢ	7月24日